

追分の里「美味しいもの」資源を活用した新たな産業づくりプロジェクト

概要

江差町北部に位置する農村地区では急激な人口の減少による高齢化の進行、後継者不足などの状況に晒されており、雇用の場の確保が喫緊の課題となっていることから、「緑の分権改革調査事業」により整備された施設の活用し、地元農産品を使用した新しい特産品の開発を行い、地域所得の向上、雇用の拡大を推し進め、自立型農村社会の創造を図る。

事業の内容

事業の内容

- (1)地域の農産資源を活用した新しい商品の開発
- (2)新しい商品のパッケージと併せ、江差ブランドの構築の研究
- (3)未利用農産品の有効活用を図る、新たな流通方式の検討

総事業費 10百万円

ポイント

「顧客のニーズ」に対応した商品開発とそのパッケージの制作に併せ、江差町のブランドシンボル(ロゴ)も制作し、それらのツールを重層的に活用した、「江差ブランド」の構築方法及び将来のブランド戦略について研究する。

事業の成果

地域の農産資源を活用した商品(大豆かりんとう、べこ餅、カボチャ味噌)を開発するとともに、そのパッケージデザイン、町のロゴ及びロゴを反映させた販促ツール(横断幕、幟等)も制作し、それらの反応を得るための市場調査を行い、ロゴ、パッケージの活用方法について決定した。今後については、今回の取組から導きだした江差町におけるブランド階層を活かした戦略に基づき、町の認知度の向上を図りつつ、「江差ブランド」の構築、定着、発展を目指す。

北海道江差町



開発商品・パッケージ



ロゴ・販促ツール(横断幕)



ブランド戦略概念図